

漁海況情報

2011年(平成23年)10月 第467号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
E 海況案内人のページを参照してください。

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

FAX 098-995-2357

携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)↑

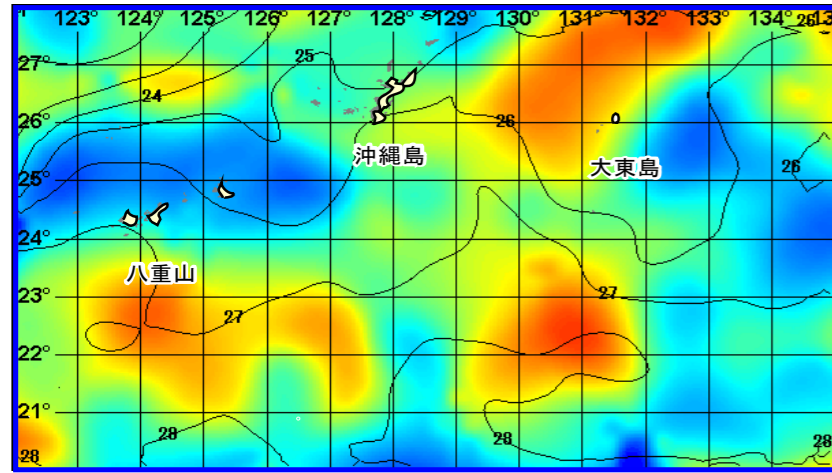


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2011年11月22日)

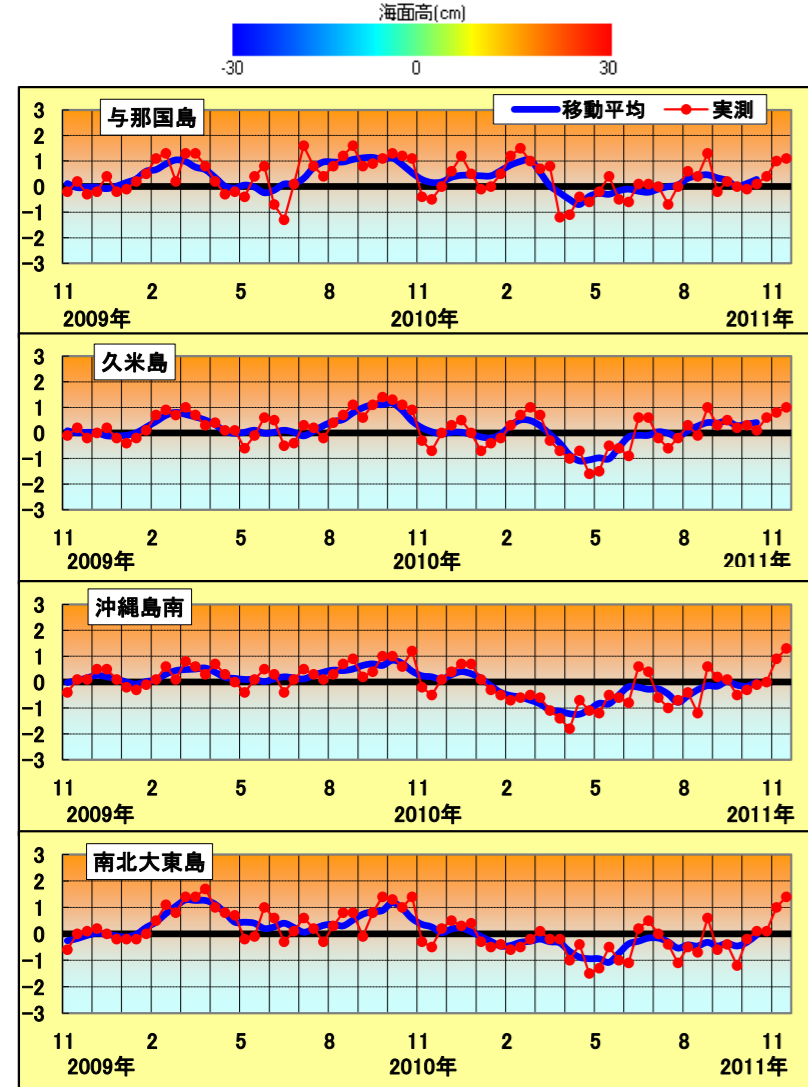


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

N 水温：11月の水温は、概ね高め(+1.0℃程度)であった。12月の水温は前半やや高め(+0.5℃程度)、後半半年並み(±0.5℃程度)で推移する見込み。
潮流：久米島近海の黒潮はやや西寄りを流れ、宝山・大九曾根から久米島に向けて北向き、宮古島の南で東向き、本島の東で北東向きの比較的に強い流れが発生している模様。

参考資料

海水温・海流1ヶ月予報：11月18日気象庁

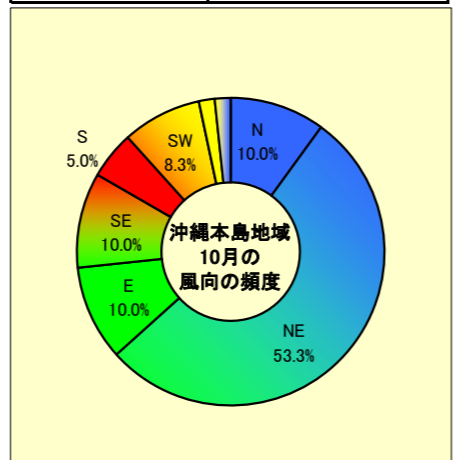
地球環境・海洋部発表

西日本海区別海況情報：11月26日発表長崎海洋気象台

沖縄県地方1か月予報：11月25日沖縄気象台発表

11月の表面水温平年偏差

与那国	高め
久米島	高め
沖縄島南	高め
大東島	高め



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、シイラ、伊良部ではキハダ、シビの水揚げが多かった。

表1 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	5.0	2.8	0.6	2.8	11.2	2.1	29.9
クワジキ	0.2	0.0	1.3	0.0	1.5	0.0	4.6
沖サワラ	0.5	0.1	0.1	0.1	0.7	0.0	1.6
カツオ	0.3	0.0	0.1	0.0	0.4	2.5	3.3
キハダ	13.1	0.4	1.4	2.9	17.8	14.4	45.0
シビ	4.0	1.6	2.8	8.4	16.9	8.9	29.3
メバチ	1.1	0.0	1.8	1.0	3.9	0.0	4.8
計	24.2	4.9	7.9	15.3	52.4	27.9	118.4

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	10.6	22.9	22.7	30.0	24.9	111.0
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	14.2	26.9	21.8	56.4	27.2	146.6
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	9.6	0.9	2.2	8.8	6.1	27.6
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.7

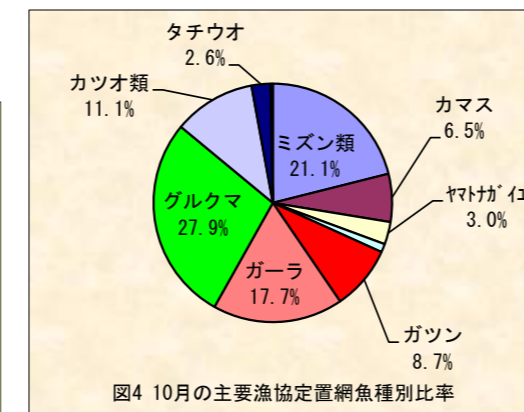


図4 10月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：10月の全体の漁獲状況は、7,959.7kgで先月(5,779.2kg)と比べて増加した。グルクマの漁獲が全体の27.9%、ミズン類が21.1%、ガーラが17.7%を占めた(表5、図4)。



カツオ(かちゅー)

糸満では、キハダ(10kg以上)が13.1t、シイラが5.0t、シビが4.0t漁獲された。港川がシイラが2.8t、シビが1.6t漁獲された。知念では、シビが2.8t、メバチが1.8t、キハダが1.4t漁獲された。沖縄市ではシビが8.4t、キハダが2.9t、シイラが2.8t漁獲された。伊良部ではキハダが14.4t、シビが8.9t漁獲された(表1)

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

今年度のキハダの漁獲量を過去3年間と比較すると、1月期(28.4t)、7月期(47.8t)、9月期(38.5t)は過去3年間の月別漁獲量を上回っている(図3)。また10月期のキハダの漁獲量は17.8tで、9月期(38.5t)に比べて20.7t漁獲量が減少、昨年(45.7t)と比較すると45.7t下回った(表2)。

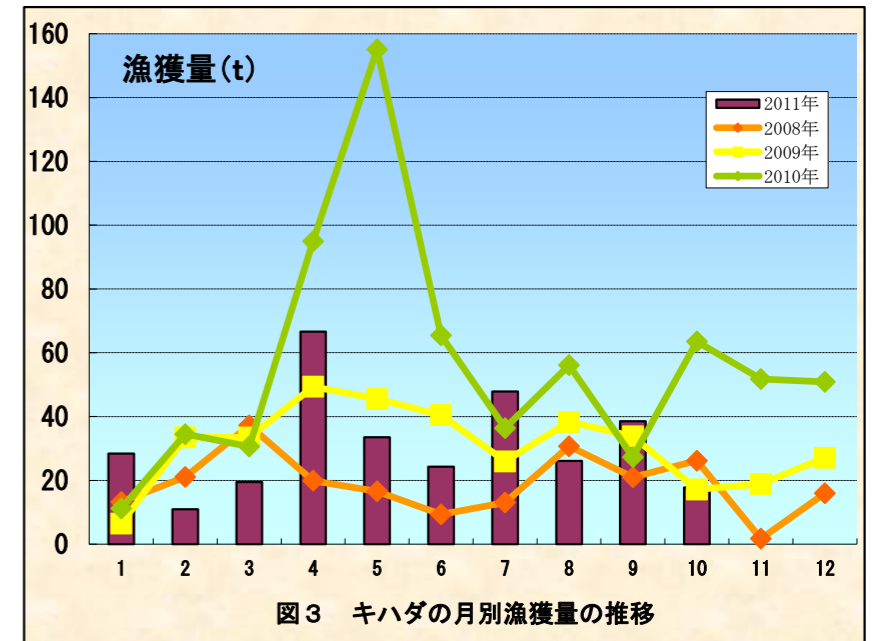


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	291.9	324.9	0.0	0.0	936.5	29.0	43.0	0.0	1,625.3	1,625.3
カマス	266.5	92.4	0.0	0.0	47.1	79.0	3.3	13.7	502.0	525.2
ヤマトガイ	113.9	82.5	0.0	0.0	32.2	6.3	0.0	0.0	234.9	234.9
ムロアジ	35.9	2.8	0.0	0.0	19.9	28.3	0.0	1.0	87.9	91.7
ガツン	295.7	37.2	0.0	0.0	96.9	219.1	9.1	12.8	670.8	738.6
ガーラ	577.7	371.0	0.0	0.0	74.0	245.5	63.6	31.4	1,363.2	1,482.0
グルクマ	1,143.1	668.4	0.0	0.0	42.2	162.0	127.0	6.0	2,148.7	2,154.2
カツオ類	773.9	37.9	0.0	0.0	5.1	34.7	6.5	0.0	858.1	858.1
タチウオ	26.8	121.8	0.0	0.0	2.5	45.9	0.4	0.0	197.4	217.8
アイゴ	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.8	20.0	0.0	24.1	31.9
合計	3,525.4	1,738.9	0.0	0.0	1,257.7	852.6	272.9	64.9	7,712.4	7,959.7

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。